

## 英語 授業デザイン

日 時：平成 24 年 12 月 7 日（金）第 3 校時（10 時 40 分～11 時 30 分）  
 学 年：中学部 1 年生  
 授 業 場 所：1 年生教室

1. 単元（題材）名

Unit7~8「英語で問答しよう」

2. 単元（題材）の目標

What Who Where Which Whose How などを用いた文の意味・構造並びにその応答の仕方を理解する。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 3 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	英語の質問と答えが書かれた絵カードを使って、英語を使うことに慣れる活動を行う。	IWB 教材提示装置
第 2 時	耳で覚えた英語を文字で書いて音とつなげる活動を行う。	IWB 教材提示装置
第 3 時	単語カードを使って問答文を生徒が作る。本時（3 / 3）	TPC IWB

4. 本時の目標

- (1) 日常生活で使う頻度の高い問答文の意味・構造を理解し使うことができる。
- (2) 身近な題材の問答をすることで言語活動への意欲を高める。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	導入 展開
活用する者〔目的〕	・児童・生徒〔個別学習・協働学習〕 ・指導者〔コンテンツ提示・資料提示〕
活用するコンテンツ	自作コンテンツ
活用する機器	TPC IWB 教材提示装置

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p><b>Warm up</b></p> <p>“Happy Christmas” by John Lennon を聞いて歌詞にあるカッコに入る単語を 聞き取る。</p>	IWB (指導者)	<p>音楽に合わせて歌詞を目で 追うことができるよう支援 する。</p> <p>【パワーポイントのアニメ ーション機能でどこを歌 っているかわかるよう歌 詞を提示する。】</p>
展 開	<p><b>一斉学習</b></p> <p>既習の問答文に新出内容をくわえて音読 練習する。</p> <p>①読みと意味を理解して質問文を練習す る。</p> <p>②適する答え方を確認して練習する。</p>	教材提示装置 IWB (指導者)	<p>言語活動を行うときは face to face を大切にすると雰囲気 を作る。</p> <p>読みと意味を理解し、ペアー で行う言語活動につながる 練習になるよう支援する。</p> <p>【自作コンテンツを活用し て、質問内容や答えの例を 提示しながら練習させ る。】</p>
	<p><b>個別学習</b></p> <p>練習シートを使って問答文を書く練習を する。</p> <p>③音と文字がつながるよう音読しながら 綴りを書いていく。</p> <p>④問答文の意味を確認しながら書く練習 をする。</p>	IWB (指導者)	<p>単語をアルファベット1文字 ずつでとらえてしまい、1単 語として書くことが苦手な 生徒に困難さを軽減できる 支援をする。</p>
ま と め	<p><b>協働学習</b></p> <p>単語を並べ替えて問答文を作成する。</p> <p>⑤協働学習システム上で生徒が単語を順 番に選んで並べていき、質問文と答えの 文を完成させる。</p>	IWB (指導者)  TPC (生徒)	<p>【TPCの協働学習システムを 使い、単語群を資料として取 り込んでおき、ドラッグする だけで文を作ることができる ようにする。】</p>

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）  
問答文の意味・構造を理解し、友達と問答できたか。  
友達と言語活動を楽しむことができたか。

8. 準備物

学習プリント          自作コンテンツ          T P C          I W B          教材提示装置